

事業所名

葛飾区子ども発達センター本園

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念		子ども一人一人を大切にし、子どもが喜びや幸せを感じながら、成長できることを目指す。					
支援方針		「遊び」を通して、子どもの自尊心や主体性を育て、個々の成長に合わせた「生きる力」の基礎を培うための支援を行う。					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり (送迎対象には条件あり)
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>(1) 健康と生活リズムの維持</p> <p>① 連絡帳を通して、入眠時間と起床時間を確認する。また、当日の朝食時間や食欲の有無、排尿や排便を確認することで、児の健康状態を確認する。</p> <p>② 重症心身障害児や医療的ケアが必要な児に対しては、日々の健康状態の確認と処置を行う。安全に通園できるように、かかりつけ医と連携を取る。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣の形成</p> <p>① はじまりの会やおわりの会を通して、一日の生活のリズムや生活習慣の形成を図る。</p> <p>② 朝や帰りの支度は、イラストや文字を使い、それぞれのお子さんのペースで取り組めるように支援する。</p> <p>③ 生活の中で、様々な遊びを通して成長が促されるような環境を作る。</p> <p>④ 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、看護師による摂食支援チームを作り、児に合った食形態や介助方法（姿勢や食具）を提供する。また、食事に対して関心が高まるように、“触ってみる”“匂いを嗅いでみる”“食事の風景を見ている”等の段階を踏んで支援する。</p>					
	運動・感覚	<p>(1) 運動・動作の経験</p> <p>① 日常生活に必要な全身を使った動作（歩く、走る、くぐる、またぐ、押す、引く、投げる等）を運動遊具を使いながら繰り返し経験できるように支援する。</p> <p>② 指先を使った細やかな動作の経験を積めるように支援する。（例：粘土、絵の具、描画、色水遊び等）</p> <p>(2) 感覚の遊びの興味・関心</p> <p>① 遊びを通して視覚・聴覚・固有覚等を十分感じられるように支援する。（例：絵本、パネルシアター、ブランコ、触れ合い遊び、トランポリン等）</p>					
	認知・行動	<p>(1) 認知の特性についての理解や対応</p> <p>① 自ら気づくことや、できることが増え、自ら行動できるように支援する。 (例：はじまりの会等の繰り返しの活動、発達段階に合わせた提示の仕方の工夫等)</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>(1) コミュニケーションへの意欲</p> <p>① 発達段階に合わせて表情やサイン、言葉を含めた豊かなコミュニケーションを育めるように支援する。（例：ごっこ遊び、表現遊び、ボール遊び等）</p> <p>② 職員や他児と様々な遊びを経験する中で、“楽しい”“嬉しい”“くやしい”等様々な感情を味わいながら関わる経験が積めるように支援する。 (例：ボウリング、電車ごっこ、箱積み、フルーツバスケット等)</p>					
	人間関係 社会性	<p>(1) 人と関わる心地よさの経験</p> <p>発達段階に応じて他者と関わる楽しさを育めるように支援する。（自由遊び、ごっこ遊び、ボール遊び、ルールのあるゲーム遊び等）</p>					
家族支援		お子さんの課題や成長を家族と共有し、寄り添いあえる関係を構築する。（例：個別支援、アセスメント面談、確認面談、見学等）			移行支援		進路（幼稚園・保育園・小学校）に関する相談支援。 幼稚園・保育園・他施設との連携（アイリスシート等）
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携 必要に応じて、医療機関等、お子さんが関係する機関との連携			職員の質の向上		外部の研修やOJT（虐待防止・事例検討・理学療法士や心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等の専門職による相互研修）を計画立案し参加することで質の向上につなげる。
主な行事等		近隣の散歩を通して、季節の花や風、自然に触れ合い、季節を感じる。 制作や絵本、遊びを通して、季節の行事に触れる。（こどもの日、梅雨、七夕、夏の水遊びや氷遊び、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、ひなまつり等） 音楽療法等の親子活動					